

# 3つのSTEP

セブン&アイグループが 取り組むCO<sub>2</sub>排出量削減に向けた

## NTTグループとの協創で実現する 国内初の再生可能エネルギー調達 オフサイトPPA



### STEP1 省エネ施策

LED照明など省エネ設備の導入



稼働管理・EMSの導入



各店舗の電力消費データを見える化



### STEP2 創エネ施策

設置場所・発電容量・  
蓄電池の拡大

太陽光パネル  
の設置拡大



アリオ市原

オンサイトPPA (敷地内)

### STEP3 再エネ調達施策

### STEP3

オフサイトPPAモデルの拡大や  
VPPによる電力の  
グループ相互融通

VPP…Virtual Power Plantの略称。仮想発電所



千葉若葉太陽光発電所

オフサイトPPA (敷地外)

#### オフサイトPPAとは?

「オフサイト型コーポレートPPA (電力購入契約)」の略称です。発電事業者から再生可能エネルギーの電力を長期間に購入する契約を「コーポレートPPA」といい、「オフサイト型」は遠隔地の発電設備から送配電網を介して送電するモデルのことを指します。

敷地外  
発電所



千葉若葉太陽光発電所 (千葉県)  
香取岩部太陽光発電所 (千葉県)

電力の供給



発電設備設置

電力の供給

長期専用利用契約



### STEP2

オンサイトPPA (敷地内)

電力の供給

電力の供給

敷地内  
発電設備

敷地内  
発電設備

#### 「CO<sub>2</sub>排出量実質ゼロ」を 現実のものとする新たな施策

セブン&アイグループの環境宣言『GREEN CHALLENGE 2050』では目標の一つとして、グループの店舗運営により生じるCO<sub>2</sub>排出量の削減を掲げており、2030年目標「50%削減(2013年度比)」、2050年の目指す姿「排出量実質ゼロ」に向けて取り組んでいます。

事業活動におけるCO<sub>2</sub>排出要因の多くは「電力の消費」によるものですが、当社グループでは「省エネ」「創エネ」の取り組みにより、2020年度にはグループ全体でCO<sub>2</sub>排出量22.7%の削減に成功しています(2013年度比)。また、「創エネ」の領域にあたる太陽光パネル設置店舗はグループ全体で8719店舗に達しました。

しかし、これからの発電設備設置店舗の拡大、技術革新による発電量・省エネ効率の増加を見越しても、目標達成は簡単ではありません。太陽光パネルが雪で埋もれる北国など、環境によって安定的な発電量にも課題があります。そこで、新たに当社グループが取り組む第3の施策が「再エネの調達」です。

※1(株)資源総合システムへのヒアリング等を通じたNTTアノードエナジー(株)調べ

#### 「脱炭素社会の実現」の過程にある 地域社会の課題解決に ともに取り組んでいきたい



NTTアノードエナジー  
株式会社  
取締役ビジネス推進本部長  
谷口 裕昭 氏

NTTアノードエナジー(株)は、NTTグループの通信インフラやICT技術を活用し、再生可能エネルギーの創造と省エネという両輪で社会に提供する事業を行っています。今回実現した「オフサイトPPA」は国内初<sup>※1</sup>の事例としてメディアにも大きく取り上げられましたが、その意義の一つは「長期専用利用契約」です。エネルギー供給事業者にとって、需要予測が不安定では大規模発電所を新設する投資は困難です。それに對し、セブン&アイグループ様はSDGsの12番「つくる責任つかう責任」にもあるように、使う側として、20年の長期専用利用契約を結ばれました。需要が先に定まることで、再生可能エネルギーの供給事業者は積極的な発電所の開発が可能となることから、この先行事例は日本の脱

炭素社会の実現において非常に大きな意味を持ちます。セブン&アイグループ様との協創は、オフサイトPPAや脱炭素だけを目的としておりません。昨年より一緒に定例会を続けていますが、セブン&アイグループ様は当初より脱炭素社会の実現のみならず、NTTとのエネルギー領域の取り組みで、いかに「新しい価値の創出」や「社会課題の解決」が実現できるかを見据えていました。社会課題とは、たとえば地球温暖化によって増加する自然災害があげられます。昨年は台風により千葉で大規模停電が長期間続く被害が生じました。こうした際に、セブン&アイグループ様とNTTが組むことで地域社会のライフラインとしてどのような課題解決ができるかということです。

CO<sub>2</sub>排出量削減は地球温暖化の抑止策ですが、すでに温暖化に起因するさまざまな社会課題が発生しています。これは単純にCO<sub>2</sub>の削減で解決できるものではありません。オフサイトPPAはあくまで脱炭素社会の実現に向けた一手にすぎず、より広い視点で両社の取り組みを進めてまいります。

す。当社グループでは、店舗における使用電力の100%再生可能エネルギー化を目指し、昨年より日本電信電話(株)グループ様(以下、NTTグループ様)との協創を開始。その最初の一手として、国内初<sup>※1</sup>のオフサイトPPAによる電力調達を実現しました。NTTグループ様が新設した「千葉若葉太陽光発電所」によって生み出される電力を当社が長期専用利用(20年間)で契約し、6月時点でセブン・イレブン40店舗に送電されています。さらに来年1月には、新たに「香取岩部太陽光発電所」からアリオ亀有への送電を開始予定。また、今後もNTTグループ様のご協力のもとオフサイトPPAの拠点を増やす見込みです。従来の店舗設置型の太陽光発電では、パネル設置店舗にしか電力供給できませんが、オフサイトPPAによる電力は自由に送電先を変更可能です。個店単位での「省エネ」「創エネ」に加え、需要量に応じてオフサイトPPAから送電する第3の施策「再エネの調達」にグループ横断で取り組むことで、当社グループの掲げる「CO<sub>2</sub>排出量実質ゼロ」は今、実現可能な目標となりつつあります。